

## 目 次

第 1 号議案	2010 年度の活動報告に関する件	2
	2010 年度活動記録 (web リンク)	4
	2010～2011 年 組合活動日誌	9
第 2 号議案	2010 年度決算報告に関する件	1 5
第 3 号議案	2011 年度の活動方針に関する件	1 1
第 4 号議案	2011 年度予算に関する件	1 5
第 5 号議案	2011 年度役員選挙結果に関する件	1 8
付録	徳島大学教職員労働組合同規約	2 3
	徳島大学教職員労働組合組合費規約	2 9
	徳島大学教職員労働組合役員選出規定	3 0
	徳島大学教職員労働組合出張費規定	3 1
	徳島大学教職員労働組合慶弔規定	3 2

## 1. 2010 年度中央執行委員会の取組み概要

徳島大学教職員労働組合は、昨年定期大会で以下の 3 つの活動方針を決めました。

- 1) 徳島大学を誇りに思い、安心して働ける職場とするよう、教職員の労働条件の改善や地位向上の方策を大学運営者側に提案します
- 2) 職域を越えた職場の支援ネットワークとして職員間の交流・学習の機会を提供します
- 3) 「過半数の組合づくり」の取組みを推進します

中央執行委員会はこれらの方針にもとづき活動を進めてきました。以下ではそれぞれにつき概要を具体的に報告します。

### 1) 誇りに思える職場づくり

人事院勧告に関わる給与引き下げ改定に対して反対する団体交渉を行いました。

09 年度の給与引き下げに際しては、事実上のゼロ回答で、代償措置などを得ることができませんでしたが、今回は、他の多くの大学に先駆けて 9 月から対応を開始した結果、「ボーナスの引き下げ幅の圧縮 (2.00 ヶ月→2.05 ヶ月分支給)」、「看護師更衣室の改修」、「有期雇用職員への忌引休暇の新設」、「有期雇用職員の妊婦検診の有給化」などの緩和措置・代償措置を得ました。

同時期に過半数代表者と連携し、給与改定と三六協定改定をリンクさせて協議を進め、10 月の三六協定改定では従来「月 80 時間×年間 6 回まで」であった時間外労働の上限を「年間 5 回まで」と改定させ、3 か月限定で協定を結びました。さらに 12 月末には「75 時間×5 回まで」と短縮した協定を締結しました。今後は、上限時間の遵守を

監視していきます。そのために、一昨年度から継続して、事務の部署別残業時間のデータを大学側より入手し、分析を行っています。(過半数代表者については「活動の記録」p.8 を参照。)

学長就任 1 年を機に春闘活動(労働条件改善提案)を行い、学長との懇談会にて、組合側の提案のすべてについて「前向きに実施したい」との回答を得ました。今後はその具体化を促進すべく、交渉を継続します。提案項目は以下のとおりです。

- ①入試手当等の新設・増額。
- ②サバティカル制度の拡充。
- ③看護師の雇用期限撤廃。
- ④有期雇用職員の雇用期限の撤廃ないし延長。
- ⑤パート職員と契約職員の格差是正。
- ⑥蔵本地区駐車料金の格差是正。

とくに今回、看護師の雇用期限撤廃を実現した点は大きな成果であると考えます。ただし、これは不当に切り下げられた労働条件の正常化の第一歩に過ぎず、今後も病院関連の取組み強化が必要です。

緊急の取組みとして、4 月 25 日には、新規採用看護師に時間外労働手当が支給されていない点につき、即刻の改善を求めました。5 月 23 日にはこの件に関して看護部長らと話し合いを実施し、超勤をきっちりつけること、このことに関連して新人へのいじめなどが起きないように注意することなどを約束させました。

また、6 月 1 日には 6h パート看護助手の契約条件改善のための病院長交渉を実施しました。

その他、有期雇用職員の正規登用制度の改善提案・東日本大震災の義援金活動も実施。パワハラ案件や有期雇用職員の雇い止め案件など個別の対応も行いました。

### 2) ネットワークづくり

6 月の定期大会後の懇親会、8 月納涼ビールパーティ、9 月の歓迎会、12 月の忘年会、2 月の労連ボウリング大会への参加、3 月歓送迎会、4 月

歓迎会と、懇親会を開催して交流と情報交換を行いました。

徳島労連や医労連より、組合員の相談会や病院長交渉に来ていただくなど、協力関係も引き続き良好です。国公労連や徳島労連、医労連など地域の労働団体の活動にも積極的に参加しました。

(対外活動については「活動の記録」p. 4を参照。)

また、非組合員対象のメルマガ「徳島大学教職員労働組合からのお知らせ」に加え、組合員対象のメルマガ「中執便り」を発行し、組合の活動を組合員に周知することとしました。

メルマガについてはすでに 30 号を超え、学長との懇談会の席で、学長や局長がその「広報効果」を認めるなど、大学執行部にも存在感を示しています。

### 3) 過半数の組合づくり

日ごろからの教職員への加入呼びかけや、労働相談への対応、4月の病院オリエンテーションでの組合説明会などで、10年度は合計**51名(10年6/1～11年5/31)**が新規加入しました。定年や異動、自己都合などで13名の方が退会されましたが、**38名の純増**。

看護師は現在500名以上が在職しており、蔵本地区で過半数を押さえるためには看護師の加入促進がカギとなります。看護師の新規加入をさらに拡大したいところです。

過半数組合となるまでは、過半数代表者を組合から出し、組合と連携して活動を行っています。先述の通り、人事院勧告の交渉と三六協定の改定をリンクさせて行った結果、「月80時間×6回まで」であった特別条項の上限時間を「月75時間×5回まで」と削減を実現しました。

昨年度は「新規加入者の組合費6か月無料キャンペーン」を継続し、好評でしたが、「半年の無料期間は長すぎる。半年間何もなかったので組合費支払手続のお知らせを機に止めてしまう人も多い。3か月程度のほうが、手続をしてもらえ」との意見があり、新年度からは「3か月無料」に

縮小したいと考えています。(のちほど「来年度活動方針」として提案します。)

## 2. 各支部活動報告

### <常三島支部>

中央執行委員会としての活動の中心を担っているのが常三島支部選出の委員であり、そちらに時間と人と労力を集中したため、残念ながら支部独自の活動を行う余力がなかった。

以前は、常三島支部独自で大学教育問題を中心とする教研集会、常三島地区の将来構想をめぐる意見交換会を開き、それをふまえて局長交渉等も行ってきた。10年度は、総合科学部改組後の新体制の立ち上げや建物の改修などで組合員個々人も多忙であったため、こうした活動ができなかったが、11年度はこうした活動を再開していきたい。

### <蔵本支部>

蔵本支部では今期も具体的な活動は殆ど出来なかったが4名の組合員を迎え、毎年定年による退職者が続く中でも少しずつ増えていっている。書記長を中心とした組合全体の活性化、当局との交渉による具体的な成果とメルマガによる情報の発信によるところが大きいと思われる。一方でこれまでの地道な活動が評価されたと思われる新規加入もあった。

支部集会の開催も3回(8/4、4/20、5/24)にとどまったが出席率は良く、一度も接触できていない1人を除いて、組合員の交流は図れている。

### <病院支部>

東日本大震災があり、改めて誰もが"危機管理"の重要性を痛感したのではないだろうか? 原発と同じく、病院も常に危機管理を考えねばならな

い"現場"である。"安全にミスなく業務が遂行できて当たり前""急変時に対応できて当たり前"の職場であるが、その陰にどれほどの知識や技術、努力、そして犠牲が尽くされているか考えてくれたことはあるだろうか？ 命を守る現場で人間的に優秀な人材がどれ程貴重な存在であるか、そしてそうでない人材がどれほど危険を誘発する存在か考えてくれたことはあるだろうか？ 安全に業務を遂行するためにしなければならないこと、すべきことが十分できない現状があり、あまりにも"現場"が軽んじられている実状がある。それらを打開するためには、十分な人材の確保、スタッフの身体的精神的安寧、快適な職場環境に尽きると思うが、我々の職場はそのどれもが満たされていない。量的質的恒常の人員不足、それによる年休取得の減少や超勤による業務過多、身体的精神的疲労の蓄積、臨時職員という不安定な身分によるストレスや不安、進まない職場環境の改善など、それら悪循環の繰り返しでスタッフのストレスはピークに達し、病休者が多く、退職者が後を絶たない状況にある。

そんななかでも学長や事務局長との懇談会を行い、看護師更衣室の改善、5年期限付きの撤廃等が実現した。雇用期限の撤廃は、全国的に見て大きな成果である。また、看護助手の契約条件改善の病院長交渉も実施した。今後も交渉を継続する。

### <保育園支部>

保育園支部では、支部会の開催は少なかったものの、組合活動報告等を組合員に回覧し、大学全体の状況や活動報告などの情報の共有を図ってきました。組合活動を知ることにより組合を身近に感じ、組合活動に対しての認識が深まったと思います。3月に組合員1名が退職しましたが、4月に新入職員1名が新たに加入しました。今年度も新入職員歓迎会や忘年会に多くの組合員が参加しました。また、第21回中四国教職員研究集会に執行部2名、支部から3名が参加、徳島労連

青年部第1回準備会、徳島労連ボウリング大会などのレクリエーション活動にも多くの組合員が積極的に参加し、職場・世代を超えて交流を深めました。

今後の課題としては、支部会議の定例化や学習会などを開催し、組合活動や他支部との交流を深めながら組合活動に取り組んでいきます。

## 3. 活動の記録（ウェブページのリンク集）

### 1) 教職員の労働条件改善

#### 1-1) 人事院勧告への対応

2010.10/15 人事院勧告への対応についての懇談会の申し入れ

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20101015.pdf>

★2010.11/1 人事院勧告への対応についての懇談会議事要旨

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20101101.pdf>

2010.11/3 人事院勧告にもとづく給与減額についての団体交渉申し入れ

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20101102.pdf>

★2010.11/17 人事院勧告にもとづく給与減額についての第一回団体交渉議事要旨

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20111117.pdf>

2010.11/19 人事院勧告にもとづく給与減額に対する大学側説明資料

<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/report/20101119.pdf>

★2010.11/24 人事院勧告にもとづく給与減

額についての第二回団体交渉議事要旨  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20101124.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20101124.pdf)

2010.11/30 人事院勧告にもとづく給与減額  
についての意見書（過半数代表者）  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
kahansuu/20101130.html](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/kahansuu/20101130.html)

2010.12/3 三六協定改定と労働条件改善の労  
使協議申し入れ  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
kahansuu/20101200.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/kahansuu/20101200.pdf)

★2010.12/21 三六協定改定と労働条件改善  
の労使協議議事要旨  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20101221.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20101221.pdf)

2011.1/11 人件費削減に伴って得られた資金  
の額と用途についてのデータ開示依頼  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20110107jinkan.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110107jinkan.pdf)

2011.3/29 人事院勧告による給与削減で得ら  
れた予算の用途  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20110329jinkan.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110329jinkan.pdf)

#### 1-2) 2011 年春闘活動

2010.1/25 学長宛「労働条件改善提案」  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20100204.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20100204.pdf)

2011.2/7 学長懇談会の開催依頼  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/do  
cument/20110207.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110207.pdf)

★2011.4/19 学長懇談会の議事要旨

[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/do  
cument/20110419.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110419.pdf)

#### 1-3) 有期雇用職員の正規採用制度

2010.7/20 有期雇用職員の正規登用試験につ  
いての情報提供依頼  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20100714.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20100714.pdf)

2010.8/9 有期雇用職員の正規登用試験につ  
いての情報提供  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20100809.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20100809.pdf)

2010.8/24 有期雇用職員の正規登用試験につ  
いての情報開示の再請求  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20100817.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20100817.pdf)

★2010.10/8 人事課との懇談議事要旨  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20101008.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20101008.pdf)

#### 1-4) 蔵本駐車料金

2010.6/28 蔵本地区駐車料金についての要望  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20100607.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20100607.pdf)

2010.9/30 蔵本駐車料金についての回答  
[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
document/20100929.pdf](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20100929.pdf)

#### 1-5) 中央執行委員会議事要旨一覧

[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
headquarter/top.html](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/headquarter/top.html)

#### 1-6) 病院支部

[http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/  
hospital.html](http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/hospital.html)

## 【看護助手】

2011.1/13 看護助手と徳島医労連の相談会  
<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/report/20110113.html>

2011.2/22 看護助手会と医労連の相談会  
<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/report/20110222.pdf>

## 【看護師】

2010.9/30 看護師の中途退職数・夜勤日数・  
年休取得日数  
<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/hospital/20100930.html>

2010.12/6 病院の看護部更衣室改修ワーキン  
グ議事要旨  
<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/report/20101206.pdf>

2011.1/14 病院支部会  
<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/report/20110114.html>

2011.4/25 新規採用看護師の時間外労働手当  
についての申し入れ  
<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110425.pdf>

2011.4/ 看護師の部署別夜勤日数データ提供  
依頼

2011.4/20 看護師の部署別夜勤日数データ

## 2) 職域を越えたネットワークづくり

### 2-1) メルマガ

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/>

[mailmagazine@mailmagazine.html](mailto:mailmagazine@mailmagazine.html)

「徳島大学教職員労働組合からのお知らせ」

2010.7/3 第20号

事務の部署別残業時間データ

2010.8/25 第21号

三六協定改定へ向けての労使協議

有期雇用職員の正規採用試験データ請求

2010.9/20 第22号(番外編)

特別条項適用分(月45~60時間)の割増賃金率を50%  
とするか25%据え置きかをめぐるアンケート

2010.10/18 第23号

3ヶ月間の暫定的な三六協定の締結について

2010.11/4 第24号

人事院勧告への対応について

代償措置についての意見募集

2010.11/17 第25号

人勤について第一回団体交渉報告

2010.11/25 第26号

人勤について第二回団体交渉報告

2010.12/26 第27号

三六協定の改定について。特別条項の月当たり上限時間  
を75時間に。

2011.1/25 第28号

学長就任一周年を前に、学長への提案について意見募集。

2011.3/29 第29号

事務の部署別残業時間データについて。

教員の入試に関わる手当について。

2011.4/11 第30号

就業規則の改正について

「中執便り」

2010.7/5 第1号

今年度の活動予定など

2010.8/10 第2号

チェックオフ要望、三六協定案提出、正規登用制度、病  
院の労働条件改善など。

2010.9/6 第3号

懇親会の予告(9/21)、三六協定協議の方針、正規登用

制度改善案、病院の労働相談会の予定など。

2010.10/5 第4号

三六協定の暫定的締結、有期雇用の正規登用制度についての協議、蔵本駐車場の回答、教研集会など。

2010.11/1 第5号

人事院勧告についての大学側との懇談会

2010.12/1 第6号

2011.1/7 第7号

「春闘」要求内容の提案

2011.2/4 第8号

2011.3/2 第9号

歓送迎会の案内など

2011.4/7 第10号

病院新人説明会の結果など。

## 2-2) 対外活動

2010.6/27 国公労連「第24回労働学校(四国会場)」@高松市 義山荘(斉藤)

2010.7/7 徳島労働学校@徳島市文化センター(中嶋、斉藤)

2010.7/14 県国公「幹事会」@国土交通省徳島河川国道事務所(斉藤)

2010/7/14 徳島労働学校@徳島市文化センター(斉藤)

2010.7/24~25 全大教「第42回定期大会」@東京文具共和会館(斉藤)

2010.9/4~5 全大教「青年部全国青年交流集会」@かながわ県民センター(田中)

2010.9/17~19 全大教「第22回教職員研究集会・労働セミナー、単組代表者会議」@横浜市立大学(山口、斉藤)

2010.10/3 徳島労連「第22回定期大会」@徳島県青少年センター(斉藤)

2010.10/13 県国公「幹事会」@国土交通省徳島河川国道事務所(斉藤)

2010.10/20 民主党陳情@ホテル千秋閣(自治会館)

2010.10/23~24 全大教「合同地区別会議」、「四国地区連絡会」@岡山市オルガ(中嶋、斉藤)

2010.10/27 県国公「議会請願」@三好市議会(斉藤)

2010.11/3 県医労連「看護労働と夜勤問題を考えるシンポジウム」@JA会館(佐古駅)

2010.11/10 県国公「幹事会」@国土交通省徳島河川国道事務所(斉藤)

2010.11/11~12 日本医労連「いのちまもる全国縦断キャラバン」行動@徳島県議会、北島町議会、板野町議会(中嶋、斉藤)

2010.12/6 四国ろうきん徳島ブロック推進委員会@徳島(今井)

2011.1/8 徳島労連「11国民春闘討論集会」@ホテルグランドパレス徳島(斉藤)

2011.1/14 県国公「定期大会」@徳島市文化センター(斉藤)

2011.1/26 県国公「幹事会」@国土交通省徳島河川国道事務所(斉藤)

2011/1/31 徳島労連「第21回中央委員会」@徳島市立ふれあい健康館(斉藤)

2011.2/5~6 全大教「病院協議会総会」@日本教育会館(楠本、三好)

2011.2/19~20 全大教「合同地区別単組代表者会議」@福岡ビル(中嶋)

2011.2/26 教職員共済生活協同組合「大学事業所ご協力団体代表者会議」@教職員共済生活協同組合本部(斉藤)

2011.2/26 徳島労連青年部「ボウリング大会」@スエヒロボウリング場(保育園から6名)

2011.3/1 徳島労連「2011春闘要請・回答確約行動」@日亜会館

2011.5/28~29 全大教中四国地区協議会@岡山オルガ(山口)

2011.6/18~19 全大教中四国地区教研集会@高知大学(中嶋、山口、吉岡)

## 3) 過半数組合作りの取り組み

### 3-1) 事務における残業時間データ

2011.1/11 事務の部署別残業時間データ提供

依頼

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110107zangyo.pdf>

2011.3/24 事務の部署別残業時間

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110324zangyo.pdf>

2011.3/24 特別条項の適用理由

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/document/20110324tokubetu.pdf>

### 3-2) 過半数代表者

<http://homepage3.nifty.com/tokushima-u-union/kahansuu/2010kyoutei.html>

#### 【三六協定改定についての労使協議】(09年度より継続)

2010.7/20 三六協定改定 組合側案

- ・時間外労働の削減
- ・月 45～60 時間の時間外労働の割増賃金率 50%
- ・特別条項適用の際の過半数代表者への「理由」「今後の対策」の報告

上記 3 点を盛り込んだ案を提出しました。

2010.8/24 三六協定についての第一回労使協議 議事要旨

大学側は、まずは現行の協定とまったく同じ協定を結びたいと主張しました。また、大学側は、7/6 に提出した「組合費チェックオフの要望」に対し、「受け入れられない」と回答しました。

2010.9/16 三六協定についての第二回労使協議議事要旨

大学側は、「月 80 時間」の適用回数を現行の「年 6 回」よりも減らすことについては前向きな姿勢を示しました。協定の期限以前に、大学側が改定案を提示することを約束しました。

2010.9/24 三六協定大学側提案

2010.10/1 3ヶ月期限で暫定的に結んだ協定  
大学側提案が十分なものではなかったことから、3ヶ月間の期限で暫定的な協定を締結し、協議を継続することとしました。

2010.12/3 三六協定改定と労働条件改善の労使協議申し入れ

9月末に3ヶ月限定で締結した36協定の期限切れが近いことから、人事院勧告への代償措置と合わせて協議することを申し入れました。

2010.12/21 三六協定改定と労働条件改善の労使協議議事要旨

特別条項における月当たりの上限時間を75時間までとすることで合意しました。

常三島地区 三六協定 2011年1月～12月

蔵本地区 三六協定 2011年1月～12月

#### 【意見書】

2010.10/01 「臨床手当」の新設

臨床手当を新設し、医師に対して下記の月額を支給する。教授 60,000円、准教授 40,000円、講師 30,000円、助教 20,000円

2010.11/30 人事院勧告にもとづく給与減額について

中高年層以上を中心に給与の引き下げを実施。

2011.4/1 下記五点の就業規則改定

①研究休職の取り扱い、②「年俸制教員」の導入、③胚培養士、医療ソーシャルワーカー、診療情報管理士等の処遇改善、④看護職員の労働時間(休憩時間)の改正、⑤「妊婦健診休暇」の改正

2011.6/1 職務発明規則の改正について



## 2010～2011 年 組合活動日誌

	中央執行委員会	懇親会	対外活動	過半数代表者
7月		6/26. 懇親会	6/27. 国公労連「第24回労働学校(四国会場)」 7. 徳島労働学校 14. 県国公「幹事会」 14. 徳島労働学校 24～25. 全大教「第42回定期大会」	6. チェックオフ労使協定の申し入れ
8月		10. ビールパーティ		24. 三六協定についての第一回労使協議
9月		21. 懇親会	4～5. 全大教「青年部全国青年交流集会」 17～19. 全大教「第22回教職員研究集会・労働セミナー、単組代表者会議」	16. 第二回労使協議 30. 三ヶ月限定で三六協定締結 30. 意見書：臨床手当の新設
10月	8. 有期雇用職員の正規登用制度について人事課と懇談		3. 徳島労連「第22回定期大会」 13. 県国公「幹事会」 20. 民主党陳情 23～24. 全大教「合同地区別会議」 27. 県国公「議会請願」	
11月	1. 人事院勧告への対応についての懇談会 17. 人事院勧告にもとづく給与減額についての第一回団体交渉 24. 第二回団体交渉		3. 県医労連「看護労働と夜勤問題を考えるシンポジウム」 10. 県国公「幹事会」 11～12. 日本医労連「いのちまもる全国縦断キャラバン」行動	30. 人事院勧告にもとづく給与減額についての意見書
12月	21. 三六協定改定と労働条件改善の労使協議	10. 忘年会	6. 四国ろうきん徳島ブロック推進委員会	21. 三六協定改定と労働条件改善の労使協議 31. 三六協定締結
1月			8. 徳島労連「11 国民春闘討論集会」 14. 県国公「定期大会」 26. 県国公「幹事会」 31. 徳島労連「第21回中央委員会」	

2月			5～6.全大教「病院協議会総会」 19～20.全大教「合同地区別単組 代表者会議」 26.教職員共済生活協同組合「大 学事業所 ぎ協力団体代表者会 議」 26.徳島労連ボウリング大会	
3月		25. 歓送迎 会	1.徳島労連「2011 春闘要請・回 答確約行動」	31.研究休職の扱い等に関 する就業規則改正につ いての意見書
4月	1. 事務職員説明会 19.学長との懇談会	22.歓迎会		
5月	23.看護部と新人看護 師の超勤について話し 合い		28～29.全大教中四国地区協議会	31.職務発明規則改正につ いての意見書
6月			18～19.全大教中四国地区教研集 会	

	支 部 (部 会) 活 動			
	常三島	蔵本	病院	保育園
7月				
8月		4.支部会		
9月				
10月				
11月				
12月				
1月			13.看護助手支部会 14.病院支部会	
2月			22.看護助手支部会	26.徳島労連ボウリング大会
3月				
4月		20.支部会	1.新人説明会	
5月		24.昼食会		
6月			1.看護助手の契約条件 変更の病院長交渉	

## 1. 2011 年度の活動方針

昨年度に引き続き、私たちは、次に掲げる 3 つの活動方針で 2011 年度の組合活動を実施していきます。

### 1) 徳島大学を誇りに思い、安心して働ける職場とするよう、教職員の労働条件の改善や地位向上の方策を大学運営者側に提案します

組合員や組合員以外の教職員の声も集めて、大学役員会や各部局長等に対して労働条件の改善に向けて団体交渉し、より良い職場になるよう努力します。人事院勧告や政府の人件費抑制策等の動向にも留意して、以下の項目について取り組みます。

- ①教員の業績評価や昇任の改善を求めます。
- ②各種手当の拡充による手取りの増加を求めます。
- ③看護師の労働条件の改善を要求します。夜勤回数の削減、年休取得の増加、手当の増額などによって離職に歯止めをかけ、応募者が増えるような労働環境の実現を図ります。
- ④教職員からの相談に対応します。
- ⑤全大教、徳島労連、徳島県医労連、徳島県国公などと連携をとりながら活動に取り組みます。

### 2) 職域を越えた職場の支援ネットワークとして職員間の交流・学習の機会を提供します

- ①組合員同士が交流できるように、懇親会をなるべくたくさん開催します。
- ②徳島労連などのイベントも紹介し、参加を募ります。
- ③さまざまな教研集会にもなるべく参加者を送り込み、学習や情報収集の機会とします。

### 3) 「過半数の組合づくり」の取り組みを推進します

加入促進策と、組合活動の広報を中心に、過半数組合の実現のために活動します。

- ①病院や事務職員の新人オリエンテーションで組合説明会を実施し、加入を呼びかけます。10 年度以上の加入が実現するように、他大学の例を参考に説明会の工夫を重ねます。
- ②非組合員向けのメルマガ「徳島大学教職員労働組合からのお知らせ」、組合員向けの「中執便り」の配信を継続します。病院向けに、「あしたば」の発行を継続します。
- ③事務職員、病院、加入者の少ない部局、非常勤職員・ポスドクなど多方面に積極的な組合加入の促進を展開します。
- ④多様な職種への参加が進んでいることに効果的に対応するため、支部組織の見直しなど、組織活動のあり方を検討します。
- ⑤組合費のチェックオフに向けて過半数代表者との協調と役員会への要望を行います。
- ⑥新蔵地区の過半数代表者を組合から選出します。

なお、「活動報告」のところで述べたように、従来の「新規加入者 6 か月無料キャンペーン」を「3 か月間無料」に短縮することで、新規加入者の定着を促します。

## 2. 各支部活動方針

### <常三島支部>

他の支部との連携を深め組合全体の活動に主体的に関わり、組合活動の活発化につとめる。また、前年度低調であった支部独自の活動の活発化をはかる。具体的には常三島地区の中期目標、中期計画をふまえた現状分析、共通教育や総合科学部を中心とする教育問題をテーマとした教研活

動や意見交換会を企画し、組合としての提言をまとめて行く。その結果をふまえ、必要に応じて部長交渉も計画し、組合の立場からよりよい職場作り、教育活動の充実を図って行く。

### <蔵本支部>

支部構成員の職種は多岐にわたり置かれた状況も異なるので、支部の集まりもこれまで以上にきめ細かな調整が必要となってくる。

蔵本、保育所、病院支部の一部を管理している支部会計実務を、次期は保育所支部にお願いして負担を減らし、新しい方たちの力に依拠した具体的な活動を探っていけたらと考えている。

### <病院支部>

「活動報告」で記したとおり、病院では量的質的恒常的人員不足、それによる年休取得の減少や超勤による業務過多、身体的精神的疲労の蓄積、臨時職員という不安定な身分によるストレスや不安、進まない職場環境の改善等など、それら悪循環の繰り返しでスタッフのストレスはピークに達し、病休者が多く、退職者が後を絶たない状況にある。現場の具体的な改善のためには**病院長との懇談会**が是非必要であり、新年度はその開催を行いたい。

08年度（2009年4月）より組合説明会を実施し、09年度は5人の入会があったが、フォローが出来ず、退会させてしまう結果となった。10年度（11年4月）は23人の入会があった。**退会させることなく、組合員の増員へと繋げたい！**

大学病院は教育・研究機関とは言え"患者の命を預かる現場である"という根幹を抜きにしては誰の信頼も得られない。現実にははるか及ばない状況であるが、今後、組合活動を行うに当たっても、その根幹を揺るがすことなく対応していかなければならない。また、医療行政の失策、組織や体制自体が現状を生み出しているのであるから、今後は政府への対応についても検討しなければな

らない。組織や体制そのものも根本から考え直し、改善していく必要がある。

どの病院も7対1看護の人員確保に躍起になっているが、その人員さえぎりぎりの状況である。現場では一般病棟でも5対1、3対1以上の人員を必要としている。患者の高齢化、治療の複雑さ、患者の要求の多様さ、医療行政失策による大学病院への救急患者の増加、看護業務以外の雑務の多さ等など、全て現場の問題をないがしろにしては、いつまでたっても職場環境の改善に繋がっていかない。

育児休業制度や介護休業制度が施行されたのは歓迎するが、それを考慮しない人員しか考えないから平均年休8~10日という結果であっても、個人的には年間1~3日などというスタッフがあり、恒常的なサービス超勤となっているのである。ワーク・ライフ・バランスにはほど遠い状況であり、スタッフのモチベーションを低下させてしまい"退職"という結果になるのである。夜勤前後の休日ばかりで連続休暇がなく、家族や友人達との交流に費やせる時間的ゆとりもない。家庭生活や普通に人生を楽しむための休暇にはほど遠い職場環境では、就職希望者も望めない。根本から、もはや法律そのものから改善しなければ解決は困難であろう。医療現場は悲惨で、震災の政府の対応と同じである。現場が必要とする対応と対策のずれ、後手後手の失策にもどかしさを感じる。それら具体的な問題に対処していくのが、病院支部の役割である。

### <保育園支部>

新年度も引き続き、他支部との交流を深めながら組合活動に取り組んでいきます。学習会なども開催していきます。具体的な活動方針としては、①支部会議の定例化を目指し、組合員同志の交流を図ります。②学習会などを積極的に開催します。③他の支部との連携を深め、組合活動の活発化に努めます。

④新規採用者に対して組合説明会を開き、組合加入を進めていきます。

### 3. 具体的要求

2011年度も活動方針(1)「徳島大学を誇りに思い、安心して働ける職場とするよう、教職員の労働条件の改善や地位向上の方策を大学運営者側に提案します」にもとづき、大学運営者側へ要求・交渉を進めていきます。

#### ●労使関係、労働条件の改善について

①教職員の賃金・労働条件は、組合との団体交渉を誠実にやり決定するという労使関係を確立すること。

11年度は震災を理由とした「公務員給与の一律10%カット」が実施される可能性が高まっています。情報収集を進めつつ、10年度同様に先手先手で対応していきます。

②大学病院に勤務する看護師の労働条件を抜本的に改善すること。看護師を充分確保・増員し、7対1看護の体制において、安全で安心して働ける労働環境になるよう看護師の意見を取り入れた職場改善システムを構築すること。

具体的な要求項目としては、看護師の増員。各種手当の新設・増額。夜勤回数の削減。年休取得を年12日以上にすること。

③事務系の職場や病院において、不払い残業の根絶を始めとして労働基準法など法令を遵守するとともに、労働時間を短縮すること。そのため、労使協議の場を設けること。

10年度は三六協定の改定を実現しましたが、残業時間のデータ分析を通じて制度の運用を監視し、業務の削減・改善や適正な配分を求めていきます。

10年度は「新人看護師には超勤を付けない」という部長がいるという実態の改善を求めました。今後も適正な労働時間管理が行われるよう、監視を続けていき

ます。

④パート職員の雇用期限を撤廃すること。有期雇用職員の正規職員化を進めること。

09年度には有期雇用職員の正規登用制度の導入を実現しましたが、今後は制度運用を監視し、その適正な実施を求めていきます。

10年度には看護師の雇用期限の撤廃を実現しましたが、その他の職種における雇用期限の撤廃を求めていきます。

10年度より継続で、6hパート看護助手の契約条件改善を進めていきます。

⑤助教の研究環境の充実と待遇改善を行うこと。また、助教等を全員任期付きとするなどの無限定な任期制の導入は行わないこと。

⑥教職員の単身赴任手当における対象者規定の見直しを検討し適正な運用になるように改善すること。

⑦教育研究水準を低下させ、教職員の労働強化を招く人件費削減・人員削減計画については、労働組合と協議し再検討すること。

⑧教員賃金水準を5%引き上げて私立大学との格差是正をはかること。職員は国家公務員との給与格差是正のため昇任・昇格等の改善を行うこと。

⑨教員任期制の導入に際しては、無限定な任期制を行わず、教員任期法に基づき、選択的限定的任期制、本人合意、組合との交渉事項であること等のルールを確立すること。

⑩教職員の評価と査定昇給問題について、評価基準が不透明・未成熟な現状では、現行システムの実施上での問題点を調査検討し改善策を提示すること。公正かつ透明性のある評価基準、評価への異議申し立て権の保障、査定のある方について組合との交渉事項とすること。

⑪教職員のワーク・ライフ・バランスを考え、次世代育成支援推進法に基づく実効性ある「行動計画」を教職員の意見を取り入れて改善すること。

⑫本学の人権委員会が教職員にとって真に相談

しやすいものとして機能するよう改善すること。

### ●教育研究環境の充実

- ①授業料等の学生納付金の高額化、教育研究条件の貧困化は、学生の学ぶ権利の侵害であることの認識を共有し、その改善の取り組みを強めること。

授業料免除の拡大や奨学金制度の充実などを求めていきます。

- ②競争的予算配分、学長等の裁量経費への偏った予算配分が基礎的で長期的な教育研究の基盤を壊し、歪めていることを認識し、均衡のある長期的視点から教育研究の推進を助成すること。
- ③大学の教育研究のあり方、特性を活かし、「学術の中心として」「深く専門の学芸を教授研究（学校教育法 52 条）ができるよう財政基盤を整備すること。

### ●大学運営に関すること

- ①学長選考、理事選任は、民主的ルールに基づき行うこと。具体的には、学長選考は学内構成員による投票制度を維持・尊重すること、学長の理事選任は教育研究評議会の推薦、経営協議会の意見聴取を取り入れること。

現在、学長選挙（学内意向投票）の選挙権は基本的に教員に限られており、たとえば事務系では課長級以上となっているなど、真に学内の意向を反映しているとは言えない状態です。選挙権の拡大を求めていきます。

- ②情報公開、透明性の担保の原則を明確にし、役員会、教育研究評議会、経営協議会及び教授会の議事の概要を作成し、公開すること。
- ③教育研究の充実、活性化の観点から財政・経営問題を含めて、教育研究評議会・教授会が自治・自律的な機能を十分に発揮すること。経営協議会は教育研究の充実のため、その整備、充実、支援に当たること。
- ④教育研究評議会の評議員のうち、国立大学法人

第 21 条第 2 項の四に規定する「その他教育研究評議会が定めるところにより学長が指名する職員」の指名に際しては、大学を構成する部局その他の教育研究上の重要な組織から選出されたものを含むこと。

- ⑤教育研究評議会で審議に付す重要事項は基本的に教授会での審議を経ること。
- ⑥教員人事に関しては、教授会・教育研究評議会の議に基づき採用、昇格、降格、異動、解雇等を行うこと。

2010年度一般会計決算報告(2010年6月-2011年5月)  
2011年度一般会計予算案(2011年6月-2012年5月)

収入の部						
	備考	2011年度予算	2010年度予算	2010年度決算	差額(決算-予算)	備考
前年度繰越金		708,524	507,677	507,677	0	
組合費		1,800,000	1,800,000	1,717,224	-82,776	
共済・基金等からの繰入金		40,000	360,000	420,120	60,120	
旅費相殺分	※全大教組合費より	350,000	500,000	350,380	-149,620	
旅費・交通費等補助	※全大教四国連絡会、医労連より	1,000	0	61,980	61,980	
その他(利息)		300	500	230	-270	
<b>収入合計</b>		<b>2,899,824</b>	<b>3,168,177</b>	<b>3,057,611</b>	<b>-110,566</b>	

支出の部						
	内訳	2011年度予算	2010年度予算	2010年度決算	差額(予算-決算)	備考
加盟団体組合費	全大教組合費	1,082,400	850,000	979,000	-129,000	
	医労連組合費	50,000	50,000	48,600	1,400	
	徳島労連会費	150,000	120,000	120,000	0	
	県国公労連分担金	36,000	18,000	0	18,000	
	全大教四国連絡会分担金	16,000	12,000	11,191	809	
<b>小計</b>		<b>1,334,400</b>	<b>1,050,000</b>	<b>1,158,791</b>	<b>-108,791</b>	
旅費		450,000	500,000	455,000	45,000	
<b>小計</b>		<b>450,000</b>	<b>500,000</b>	<b>455,000</b>	<b>45,000</b>	
活動費	交通費・日当	120,000	100,000	115,900	-15,900	
	会議費	30,000	40,000	19,849	20,151	
	通信費	100,000	100,000	94,669	5,331	
	消耗品費	25,000	10,000	15,815	-5,815	
	印刷費	40,000	80,000	29,584	50,416	
	非常勤職員交通費	100,000	150,000	94,000	56,000	
	資料費	15,000	45,000	30,000	15,000	
	文化・レクリエーション費	170,000	150,000	163,853	-13,853	
	研修費	48,000				
<b>小計</b>		<b>648,000</b>	<b>675,000</b>	<b>563,670</b>	<b>111,330</b>	
支部費	常三島支部費	40,000	70,000	1,575	68,425	
	蔵本支部費	30,000	40,000	14,400	25,600	
	病院支部費	30,000	50,000	3,779	46,221	
	保育園支部費	20,000	40,000	0	40,000	
<b>小計</b>		<b>120,000</b>	<b>200,000</b>	<b>19,754</b>	<b>180,246</b>	
共闘費	国民救援会	12,000	12,000	0	12,000	
	その他	0	0	0	0	
<b>小計</b>		<b>12,000</b>	<b>12,000</b>	<b>0</b>	<b>12,000</b>	
その他	事務室整備費	100,000	50,000	42,100	7,900	
	慶弔費	100,000	80,000	100,000	-20,000	
	予備費	125,424	591,177	0	591,177	
	その他(金融機関手数料等)	10,000	10,000	9,772	228	
<b>小計</b>		<b>335,424</b>	<b>731,177</b>	<b>151,872</b>	<b>579,305</b>	
<b>支出合計</b>		<b>2,899,824</b>	<b>3,168,177</b>	<b>2,349,087</b>	<b>819,090</b>	

708,524 (⇒次年度へ繰越)

2010年度 教職員共済生協大学事業所関係会計報告

収入の部			
	2011年度予算	2010年度決算	備考
前年度繰越金	1,960	47,404	
事務委託手数料	17,400	34,543	
会議旅費	50,000	56,820	大学事業所より旅費振込
利息	15	13	
その他	0	0	
<b>計</b>	<b>69,375</b>	<b>138,780</b>	

支出の部			
	2011年度予算	2010年度決算	備考
組合一般会計へ繰入	20,000	80,000	
会議旅費支給	50,000	56,820	2月: 協力団体代表者会議(東京)
その他	0	0	
<b>計</b>	<b>70,000</b>	<b>136,820</b>	

2010年度末残高 **1,960**

2010年度 組合基金の現況

		2009年度決算	2010年度決算	備考
出資金 (A)		200,000	200,000	
定期預金 (B)		1,315,429	1,317,639	利息=¥2,210
普通預金	繰越金	325,238	334,756	
	配当金	9,409	8,938	
	利息	109	24	
	組合一般会計へ繰入		<b>-334,000</b>	
	小計 (C)	334,756	9,718	
<b>合計=(A)+(B)+(C)</b>		<b>1,850,185</b>	<b>1,527,357</b>	



2010年6月-2011年5月 全大教組合費支払に関する表				
	請求額	旅費相殺額	支払額	累計請求額
前年度未納分	¥0	¥0		¥0
6月分	¥77,000	¥0		¥77,000
7月分	¥77,000	¥73,100		¥80,900
8月分	¥82,500	¥0		¥163,400
9月分	¥82,500	¥163,380		¥82,520
10月分	¥82,500	¥20,100		¥144,920
11月分	¥82,500	¥0		¥227,420
12月分	¥82,500	¥0	¥274,920	¥35,000
1月分	¥82,500	¥0		¥117,500
2月分	¥82,500	¥93,800		¥106,200
3月分	¥82,500	¥0		¥188,700
4月分	¥82,500	¥0	¥253,700	¥17,500
5月分	¥82,500	¥0	¥100,000	¥0
計	¥979,000	¥350,380	¥628,620	¥0

\*5月分組合費完納が7月の全大教定期大会の参加資格になるので注意が必要